

本校における英語教育の現状と課題

- ・昨年度の英語教育改善プラン推進事業を通し、「話すこと」に関してはスモール・トークやストーリー・リテリング等を毎時間の授業で取り組んできた。思考力・判断力・表現力が即興的に必要とされる活動においても、生徒は意欲的に取り組めるようになった。
- ・昨年度の2年生を対象にしたGTECスコアを見ると、「話すこと」に関しては全国平均を5.6ポイント上回っている。また、「書くこと」においても全国平均を7.9ポイント上回っている。
- ・一方で、昨年度のGTECスコアの「読むこと」に関しては全国平均を下回っており、課題点といえる。「読むこと」に関し、意図的な取り組みを行う必要がある。

本校における具体的な取組内容

- ・「読むこと」に関して、まとまった量の英文の内容を、指導者の助けがなくても生徒が自らの力で読み進め、理解するための時間を設定する。また、読んだ内容について、S-S・T1-S・T2-Sのやり取りを通して、**読んだ内容をより深く理解**したり、**自分事として捉え**たりすることができるように**発問を工夫**する。
- ・生徒が学習者用デジタル教科書や各種アプリ等を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを促進する。



提案授業について

■実際の言語活動の様子や工夫

1、生徒と教師のやり取りを通したリーディング（パラグラフごとのテーマを意識）

①事実発問でテキストの「内容」を読み取る

T: Who uses OriHime? → S: Mr. Nagahiro.

T: I see. Who is Mr. Nagahiro? Is he healthy?

→ S: He has severe physical disability. He can't move his body.

②推論発問でテキストに表れない「気持ち」や「背景」を読み取る（本文から推測する）

T: Where is Mr. Nagahiro? **Please guess.** → S: At a hospital. / At his house.

T: **Why (do you think so)?** → S: Because he has physical disability.

根拠を問う

本文を読んでわかることから根拠の述べる

2、評価発問でリーディングをいかしたSmall Talk

読んだ内容を「自分事」に **What do you think** about the robot scientist Mr. Yoshifuji?

3、リーディングとSmall Talkをいかしたライティング

（生徒記述）I think he is a good scientist because he invented a very useful robot,

OriHime-D. It can help many people with severe physical disabilities.

まとまりのある文章を自ら読み進める力を育成



発問の工夫



成果と課題

- 今回は500語を超える長文のリーディングだったが、生徒の振り返りの中に「長い文章を読むときには段落ごとに要点をつかんでいくとよい」「**まず最初に自分の考えを示す、次に理由や根拠、説明を加えると自分の意見が伝わりやすい。根拠を教科書から読み取るとよい。**」というコメントが多数あった。最後の発問に対しても生徒全員がB以上に到達した。
- 英検IBAで中学3年生全体で、英検3級合格レベル51%、準2級合格レベル7%という結果だった。
- ▲今回の研究授業では、個人でじっくり読むというよりも、全体で読み進めていく形式だった。**生徒一人一人の読む力を直接的に高めているとは言えない部分があった。**

☆次の段階として実践していること（リーディング）

- ①テキストには書かれていない登場人物の心情を**本文中の表現から推測しながら**読んで、英語でまとめる。
- ②個々のペースでテキストを読み進める際には、**スプレッドシートを活用し、教師が途中経過を把握・中間指導**できるようにする。



提案授業について



■学年：3年 ■単元名：Let's Read "Robots Make Dream Come True" (Here We Go 3)

■領域：「読むこと」

■単元目標：社会に貢献するロボットに関する記事を読んで、ロボット科学者の吉藤健太郎さんが社会をよくするためにさらに頑張ろうと思えるようなメッセージをまとめることができる。

■パフォーマンス課題：

永廣さんをはじめ、多くの体が不自由な方たちの「働きたい、社会に参加したい」という強い希望を、吉藤さんはOriHimeの開発を通して、実現してきました。ロボット科学者である吉藤さんの取組の大切さやこれまでの活動の成果に触れながら、**吉藤さんが社会をよくするためにさらにロボット開発を頑張ろうと思えるようなメッセージ**を書きましょう。

相手意識 → 少しでも工夫

■本時の目標：吉藤さんへの**メッセージ内容をより詳しくするために**、OriHimeに関する記事を読んで、記事の大事な部分をとらえよう。

読む目的

読みを深める

読んだ内容を自分事に

■ループリック：

A：社会に貢献するロボットに関する記事を読んで、**理由や根拠を示して自分の意見や考えを伝えるために**、英文の要点（重要なポイント）を捉えている。

B：社会に貢献するロボットに関する記事を読んで、英文の要点（重要なポイント）を捉えている。